

第3章 外部評価委員会の講評

1. 土木研究所外部評価委員会の講評

第2章に示した土木研究所外部評価委員会分科会での評価結果とこれに対する土木研究所の対応を踏まえ、平成24年8月1日に土木研究所外部評価委員会を開催した。

外部評価委員会における講評は以下の通りである。

なお、審議の詳細については本書の参考資料に議事録を掲載している。

平成24年度 土木研究所外部評価委員会 全体講評

【東日本大震災関連】

- ・4つの分科会「防災」、「ストックマネジメント」、「グリーンインフラ」、「自然共生」のプロジェクトの中で、戦略的・実用的にアウトプットが出るような取り組みがされている。特に、東日本大震災を受け関連して出てきた様々な問題について、研究の中身を軌道修正し取り組まれていることは評価する。しかし、がれき処理の問題、個別の構造物・箇所だけではなくシステムが被害を受けたということの認識が不十分であり、まだ十分にやれていないこともある。

【研究体系の整理】

- ・プロジェクト研究が重点研究等によってどのように支えられているかが明確ではないため、研究が今後どのように展開していくのかが不明確である。基盤研究から重点研究、プロジェクト研究への展開について、仕組みだけではなく現状どうなっているのかを説明していただきたい。
- ・寒地の特殊性や寒地を研究することの全国的な意味は何なのか、寒地以外の研究との分担・連携がどうなっているのか、努力されているが、まだ不十分なところがある。

【成果の取りまとめ】

- ・技術がプロジェクト研究を経て実用化されることは非常に重要なポイントだが、実用化を焦らず学術のレビューを十分経るようにしていただきたい。
- ・他の分野にも関連する課題がきちんとしたアウトカムを出すためには、関係する分野との連携が重要である。
- ・研究成果を国内だけではなく国外にも積極的に発信し、技術が国際的に使われるようにしていただきたい。

【その他】

- ・プレゼンテーションについて、外部評価ということを重く受け止め、研究の内容を適切に伝える努力をしていただきたい。

2. 土木研究所の対応

土木研究所外部評価委員会で頂いた講評を踏まえ、今後も実施計画に従って鋭意研究を進めていくとともに、ご指摘頂いた事項について所内で十分に検討を行い、社会的ニーズに対応できる研究成果を出せるよう努力していきたい。

参考資料—1 議事録

平成24年度土木研究所外部評価委員会議事録

土木研究所外部評価委員会第1分科会 議事録

土木研究所外部評価委員会第2分科会 議事録

土木研究所外部評価委員会第3分科会 議事録

土木研究所外部評価委員会第4分科会 議事録